



**2023年
5月号**

発行所
神戸教区事務所
TEL 078(351)5469
FAX 078(382)1095
<https://www.nskk-kobe.org/>

発行責任者
司祭 瀬山 会治

印刷所
文明堂印刷所

でてつく

司祭 ダビデ 林 和広



明石
ステンドグラス

多様性による混乱

今の教会に異動してから3年が経ちました。異動したその月に新型コロナウイルス感染症が日本でも確認されたというニュース速報が流れましたが、その後、あつという間に感染が広がりました。新型コロナウイルス感染症の脅威に加え、この感染症に対する対応を巡る多様な見解の相違から分裂が生じ、人間同士の間に混乱をもたらしました。この混乱が人間の心をさらに掻き乱したのか、コロナ禍の只中でロシアとウクライナと

の戦争が勃発しました。

過去の人間の歴史においても戦争時に感染症が流行するという事例が数多くあつたようです。感染症の流行下にあつて多くの人のいのちが脅かされ、失われている中にあつて、お互いのことを思い合い、その危機を乗り越えることへと向かっていかななくてはならないのにそれを選択することができない人間の姿がありま

す。ウィズコロナという言葉にあるようにこの感染症がもたらした混乱は克服しつつあるようですが、大小様々、人間同士のコミュニケーションの混乱から生じる対立、分裂という問題は常に私たち人間の問題であり続けています。多様性という言葉をよく耳にしますが、その言葉通り私たちが生きている世界は多様で人それぞれ、様々な世界観、行動様式、考えを持つています。お互いの違いを認め合い、心を通わせながら時間をかけて理解し合い、今、お互い何が一番大切かということをは分かち合う必要がありま

す。新約聖書の原語では「霊」の他に「風」、「魂」、「息」という意味がありますが、どれも新鮮で生き活きとした力を人間に与えるものとして理解されています。「聖なる」とは神さまの性質を表すものであり、私たちが生きる世界の中で自由に生き活きと満ち溢れる神さまのほたらき・ちからという表現に置き換えることができると思います。

聖霊降臨のストーリーが伝えてい

てい

ることは、私たちの世界、人間のことを大切に想う神さまのほたらき・ちからを注がれた人たちが、新しく開かれた世界と他者に向かつて心を開く力を受け、新しい旅にでていったということ

です。(使徒言行録2:1-11、ヨハネ20:19-23)

自分は完全な者ではないことを受け入れ、自分の考えや経験に固執することなく、その時、その時に会う人に心を開き、耳を傾け、つながりを持ち、新しいものを吸収するために「心の旅人」となるように召し出されたのです。人は自分の慣れ親しんだ場所に留まり、安住することを望みます。行き先の見えない旅は危険を伴うので出来れば避けたいと思うのは当然です。しかし、神さまは私たちに勇気を与え、私たちが生きていく多様な世界に心を開き、でていき、そこで出会う人と心を通わせ、お互いの内にある賜物を引き出し合つて、より豊かで新しい世界にしていくことを望んでおられるのです。全く新しいことに取り組むこと、また、考えの異なる他者と出会い、心を通わせることは簡単ではなく、時に傷つき、疲弊することもあ

るでしょう。しかし、神さまのほたらき・ちからは常にそこにあり、その傷を癒し、自分が置かれているところがよりよくなるように支え続けてくれるのです。聖霊降臨の恵みが豊かに注がれますようにお祈りしています。

(明石聖マリアマグダレン教会
牧師・洲本眞光教会管理牧師)